

部会名：		こども部会				
部会長（氏名・所属先）		山下（ゆめのね）		副部会長（氏名・所属先）		
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター	
	障害福祉サービス事業者	35	医療機関		教育関係機関	7
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体	
	当事者の家族	1	権利擁護関係団体・者		大学等	
	公共職業安定所		保健所・保健センター		保育所	
	児童相談所	1	身体障害者相談員		知的障害者相談員	
	民生・児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター	1
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター		地域ケアプラザ	8
社会福祉協議会		その他	2	合計	61	
年間目標	<ul style="list-style-type: none"> 子ども部会を、気軽に繋がる事が出来る場として多職種との顔の見える関係を構築する機会とする。 保土ヶ谷区版、放ディMAPの冊子作製に向け各事業所に協力をお願いするとともに横の繋がりの強化を図る。 子供から大人まで、ライフステージに応じた切れ目のない支援について課題抽出を行い区域で共有する。 民生・児童委員や地域住民等とも交流できる機会とし、地域に障害理解を広げる。 					
月	活動内容				会議開催日時	
4月						
5月						
6月	交流会 ・ 場所：保土ヶ谷区役所3階 301・302会議室		10：00～		6/23(月)	
7月						
8月						
9月	勉強会				中止	
10月						
11月						
12月	勉強会「事例検討を通して連携の輪を広げよう」		10：00～保土ヶ谷区役所301・302		12/15(月)	
1月						
2月	年度振り返り ・ 場所：保土ヶ谷区役所2階 202				2/4(水)	
3月						
連携・協働による課題解決の仕組み	<p>部会でできたこと・やったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流会や事例検討を通して、他機関多職種の支援者との連携が深まり、支援の幅が広がった。 保土ヶ谷区版の放ディ冊子作製を行った。 <p>運営上の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 放デイ事業所、学校、地域ケアプラザ、基幹相談等関係機関との連携を深めたり、事業所の見学会等を行い情報共有できる場の構築。 ライフステージに応じた切れ目のない支援についての課題抽出については、抽出の仕組みづくりから次年度へ取り組みたい。 他区のこども部会の取り組み状況について、事務局も把握していない。他区の状況を知って、保土ヶ谷区に持ち帰る機会を持ちたい。 					
シェアしたい取組	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージに応じた相談先や福祉サービスの活用について周知できるように取り組みが出来たら良い。 		<p>市域で共有・検討したい課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害児相談支援のリソース不足に起因する『のぞまないセルフプラン』の常態化は、本来最優先されるべき児童本人の意思決定支援を困難にしている。結果として、支援の目的が『本人の最善の利益』ではなく『養育者の都合』に偏重せざるを得ない構造的課題が生じており、市域全体での相談体制の抜本的拡充が不可欠である。 緊急一時保護で障害児入所施設に繋がった際、「住まい」の安全は確保はできても、そこから元の学校や支援学校への「通学の確保」が物理的・人間的にできず、学びの機会が途絶えてしまう。 			